

とてもユニークな体験 — 「yours grey」の収録

Jez Riley French による追悼記事（全文）・引用欄より

中村としまる

sawako は大学を卒業し、ニューヨーク大学でさらに勉強するために日本を離れることになった。私たちは一緒に音楽を演奏し、杉本拓や秋山徹次と一緒に日本で短いツアーをしたこともあった。その時期に、彼女は一度私にインタビューしたことがあり、一度では十分ではないように思えたので、インタビューを続けるために別のカフェに行った。私の記憶が正しければ、それは彼女の学士論文のためだった。

それから彼女は、私を彼女の初のソロ CD アルバムで演奏しないかと誘ってくれた。

私は江ノ島／鎌倉の近くの稲村ヶ崎にある小さなアートギャラリーに行った。そこは海岸に面していて、ギャラリーのすぐ外には江ノ電の線路があった。電車は大きさからいえばほとんど路面電車のようなだったが、他の交通と線路を共有していなかった。

とにかく、私がそこに着いたとき、彼女が楽器を持っているのを見かけなかった。そのかわりに、DAT、MD、カセットテープなど、様々な手持ちレコーダーを持ったゲストがかなりいた。よくわからないが、彼女が彼らにそれらを提供していたのかもしれない。

私は入力のないミキシングボードでソロ即興セットを演奏し、sawako はゲストに好きな場所から私の演奏を録音するように言った。また、彼らはレコーダーを手にもって歩き回るようにすすめられた。

私の記憶では、私が演奏している部屋に残っていたのはほんのわずかで、ほとんどの人はギャラリーの外に出て行った。中には窓越しに私の音が聞こえるくらい近くにいた人もいたかもしれないが、私の音が聞こえないくらい遠くにいた人が多かったと思う。電車の通過音を記録している人もいたし、ただビーチを楽しんでいる人もいた。

とてもユニークな体験だった。誰かのソロアルバムに招待されて、部屋で一人で演奏し、本当に録音されているのかどうかよくわからなかった。

でも、そう、私は周囲のさまざまな環境音とともに、その録音者たち全員によって共同で録音されたのだ。Sawako はスタジオでそれらをミックスして編集し、アルバム「Yours Grey」を制作した。